

リアルワールド・データを活用し、 患者アウトカムの観点からの新たな価値創出



清水 央子氏
東京大学大学院
薬学系研究科
特任准教授



**マーリッヒ
ヨルグ氏**
ヤンセンファーマ
株式会社
ヘルスエコノミクス部
部長



青木 事成氏
中外製薬株式会社
安全性データ
マネジメント部
疫学グループ
マネージャー



玉田 寛氏
 Bristol-Myers Squibb
プリストル・マイヤーズ
スクイブ株式会社
メディカル・開発部門
専務執行役員、
メディカル・開発部門
部門長



安達 進氏
アッヴィ合同会社
医学統括本部
本部長



武藤 正樹氏
国際医療福祉大学
大学院医療経営管理分野
教授



- ▶ 多様なデータベースの分析結果をもとに、医薬品の将来の意思決定の中心的な役割を果たす
- ▶ 最適な情報源を見つけ、効果的な分析・活用方法を学ぶ
- ▶ 開発からローンチまでの間にRWDを導入し、貴社製品の価値を検証
- ▶ 上市後にRWDを活用し、患者さんの治療パターンを把握し、健康アウトカムの向上に貢献
- ▶ 異業種間で協働し、新薬に付加価値を与え、安全性を保つために必要な組織を構成



コラボレーション

業界リーダーや
イノベーターの方々と
コラボレーションやビジネスチャンス
を生むことができる

ネットワーク

150名以上の参加者と
7時間の出展エリアでの
ネットワークができる

学ぶ

業界リーダーが講演、
パネルディスカッションを
通じて、ノウハウや知見を
参加者に共有する

ゴールドスポンサー



シルバースポンサー



出展企業



eyeforpharma 主催のカンファレンス Real World Data Japan 2016 へようこそ!

長らくお待たせしておりましたリアルワールド・データ(以下RWD)に特化したカンファレンスが10月18、19日に開催されることとなりました。弊社がこのテーマについてカンファレンスを開くのは2回目となります。再び開催できることになりました背景に根強い支持があつてのことです。

2014年に最初のイベントを開催して以降、RWD活用の機会はさらに拡大しました。データソースは増え、分析の将来性は広がり、RWDの使用は世界的に飛躍的に伸びました。日本における医薬品の価値のため、より良いエビデンスを生み出してほしいという弊社への要望もこれまでにない程大きくなっています。RWDは、顧客に対して真の価値を提供するため、私たちがもつ最大の機会のひとつであると言っても過言ではないでしょう。

しかし、新しいものへの反応が常にそうであるように、躊躇も見られます。何よりもまず、見返りがあると確信しているソリューションへ投資をする前に、RWDについて大いに学び、理解することが必要でしょう。

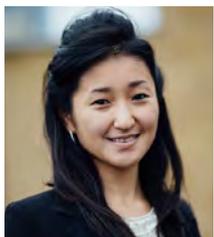
このような背景の中、本カンファレンスが貴社にとって今後のRWDの利活用において 学べる重要な場となればと思っております。医療技術評価がどのように製薬会社に影響するか、プロセスをより容易にするにはどうすればいいのかなどのを議題を取り上げる予定です。

また、費用対効果の決定方法を確認し、競合との差別化を図る方法も提示致します。国内において、こうした情報が網羅される機会は稀にありません。

注目の課題について、素晴らしいスピーカー達が話す予定です。

他社から一歩先に進むためのステップとして、このカンファレンスにぜひご出席ください。

追伸：9月2日(金)までにご登録の場合、通常価格から4万円引きとなります。



浅原 杏咲 (あさはら あんざ)
リージョナル プロジェクト ディレクター
eyeforpharma
+44 207 375 4312
anza@eyeforpharma.com

RWDの参加者とは？

前回の参加者の役職



社長・取締役 2%
執行役員 24%
本部長・部長 30%
課長・マネージャー 25%
その他 19%

前回の参加者の部署



メディカル 14%
HTA やマーケットアクセス 11%
ビジネスデベロップメント 15%
データ分析 21%
研究開発や臨床研究 17%
コマーシャル マーケティング 22%

メディアパートナー



Pharmafocus



Global Information

Health App Lab

Health Watch

ミクス Online

医薬品産業の総合情報サイト
日刊薬業
NIKKAN YAKUGYO WEB

日経バイオテック
ONLINE

日経メディカル

PHARMA JAPAN WEB

RIS FAX

THE YAKUJI NIPPO
薬事日報

登壇者一覧：



清水 央子氏
東京大学大学院
薬学系研究科
特任准教授



玉田 寛氏
 Bristol-Myers Squibb
ブリistol・マイヤーズスクイブ株式会社
メディカル・開発部門
専務執行役員、メディカル・開発部門 部門長



安達 進氏
アッヴィ合同会社
医学統括本部
本部長



平河 威氏
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
医薬開発本部臨床開発部部長
メディカルアフェアーズマネージャー



武藤 正樹氏
国際医療福祉大学
大学院医療経営管理分野
教授



松井 信智氏
アイ・エム・エス・ジャパン株式会社
コンサルティング & サービス
シニアプリンシパル



岩崎 宏介氏
ミリマン・インク
日本におけるヘルスケア部門
およびデータ分析部門
ディレクター



マーリッヒ ヨルグ氏
ヤンセンファーマ株式会社
ヘルスエコノミクス部
部長



青木 事成氏
中外製薬株式会社
安全性データマネジメント部
疫学グループ マネージャー



クライセル ネイト氏
Astellas Pharma, Inc.
リアルワールドインフォマティクス機能長



プログラム構成：

セクション1:

医薬品業界での RWDの可能性：
新薬のパイプラインを通して、
意思決定の中心的な役割を 果たす

セクション2:

新たなデータ収集・分析法を把握し、
RWDの利活用範囲を広げる

セクション3:

上市前にRWDを導入し、
製品の価値を検証

セクション4:

RWDを上市後に活用し、
患者さんのアウトカム向上
に貢献

セクション5:

多方面から協働する重要性：
新薬に付加価値を与え、
安全性を保つために必要な組織構成



プログラム（予定）

セクション1:

医薬品業界でのRWDの可能性： 新薬のパイプラインを通して、 意思決定の中心的な役割を果たす

日本の医療RWD最前線

- ・ “スモール” データが散在する医療RWDの現状と進むべき方向
- ・ RWDを活用した医薬品開発と市場分析
- RWD解析に必要な技術と人材の観点から-
- ・ 個人情報やRWD利活用のためのインフラ（人的リソースを含む）の課題をどう克服するか



清水 央子氏
東京大学大学院
薬学系研究科
特任准教授

RWDの価値とは：データを得るためのコスト VS手に入るデータの価値

- ・ 一つの薬を作る費用に対して、RWD収集にかかる費用とその価値とは
 - ・ RWDを通じて会社として前進：どのような分析が必要でそれがどのような効果があるかを知り、会社の方向性を考える
 - ・ データコストが懸念される中、コストを上回る結果も出すことができる使い方は
 - ・ 必要に応じたデータを入手して、有効的に活用する方法とは
- 製薬企業、またはベンダー企業の講演を予定しております。
最新情報はwww.eyeforpharma.com/real-world-data-japan/jp-conference-agenda.phpをご覧ください。

電子診療情報データベースを用いた研究の再 審査への利用に向けて

- ・ RWDを用いた研究を再審査で利用できるか？
- ・ プロトコル作成上の注意点は？
- ・ 研究の信頼性保証はどうするか？
- ・ 薬剤疫学研究が実施できる社内体制は？



平河 威氏
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
医薬開発本部クリニカルデベロップメント&
メディカルアフェアーズマネジャー



リアルワールド・データとナショナルレセプト データベース

- ・ リアルワールド・データ事例として、これまでに80億件のレセプトデータを
- 蓄積したわが国の巨大なデータベースであるナショナルレセプトデータベースを紹介
- ・ RWD活用の現状と課題とは何かについて考える



武藤 正樹氏
国際医療福祉大学
大学院医療経営管理分野
教授



セクション 2:

新たなデータ収集・分析法を 把握し、RWDの利活用範囲を 広げる

製薬企業におけるRWD & mHealth戦略

- ・ RWD & mHealthがなぜ今注目されているのか
- ・ 製薬企業でのRWD戦略はどのように変化しているのか
- ・ mHealthを活用した地域包括ケアへの貢献を考える



松井 信智氏
アイ・エム・エス・ジャパン株式会社
コンサルティング & サービス
シニアプリンシパル



リアル・ワールド・データ（RWD）を 用いたネットワーク・メタ・アナリシス （NMA）

- ・ NMAとは何か、製薬会社にとってどのように役に立つのか。
- ・ RWDを用いて、どのようにして各研究の患者背景を調整するのか。
- ・ 例として、RWDを用いた国内ARB（受容体拮抗薬）のNMA。



岩崎 宏介氏
ミリマン・インク
日本におけるヘルスケア部門
およびデータ分析部門
ディレクター



海外でのデータ分析における最新のトレンド

- ・ データ収集・分析の新しい方法とは
 - ・ データを有効活用するために、データサイエンティスト育成への有効なトレーニングプログラムとは
 - ・ フォークキャスト（売り上げ予測）やマーケットアクセスへRWDを活用する方法とは
- 製薬企業、またはベンダー企業の講演を予定しております。
最新情報はwww.eyeforpharma.com/real-world-data-japan/jp-conference-agenda.phpをご覧ください。

セクション 3:

治験データとリアルワールドデ ータの相補的ベネフィット

RWDと臨床試験のそれぞれのベネフィットを 検証し、新薬開発に貢献する

- ・ 治験とRWDの有するベネフィットと弱みを踏まえ、戦略的にデータ創出を行う方向性を展望する
- ・ 治験データとRWDのシームレスな創出を可能にする社内体制について論ずる
- ・ 海外でのRWD活用状況について情報共有を行う



玉田 寛氏
 Bristol-Myers Squibb
プリストル・マイヤーズスクイブ株式会社
メディカル・開発部門
専務執行役員、メディカル・開発部門 部門長



プログラム（予定）

エグゼクティブ・パネルディスカッション： 今後のデータについて：提供できるもの、 製薬業界がほしいもの

- ・現在不足しているデータ、そして不足を埋めるには
- ・問題意識されていることをならべ、今後の動向をいろんな観点から見る
- ・限られた予算の中でデータソースを増やす方法



清水 央子氏
東京大学大学院
薬学系研究科
特任准教授



岩崎 宏介氏
ミリマン・インク
日本におけるヘルスケア部門
およびデータ分析部門
ディレクター



松井 信智氏
アイ・エム・エス・ジャパン株式会社
コンサルティング & サービス
シニアプリンシパル



安達 進氏
アッヴィ合同会社
医学統括本部
本部長



セクション 4： 上市後にRWDを活用し、患者さんの アウトカム向上に貢献

日本やドイツでの事例をもとに、実際の 臨床現場における薬剤の使用を検証する

- ・RWDを用いて治療パターンを知る：どういった理由でペーシェントやドクターが特定の医薬品を使うのか、
- そしてどのように持続率や変化率を判断するのか
- ・RWEは費用対効果分析に利用できるのか



マーリッヒ ヨルグ氏
ヤンセンファーマ株式会社
ヘルスエコノミクス部
部長



Real World DataとしてのPMOSの活用

- ・実臨床で求められるデータとは？
- ・PMOSのデータをいかに活用するか？
- ・PMOSの限界



安達 進氏
アッヴィ合同会社
医学統括本部
本部長



セクション 5：

多方面から協働する重要性： 新薬に付加価値を与え、安全性 を保つために必要な組織構成

RWD活用の最優先事項-薬害監視のための活用

- ・RWDを活用しなければならない種類の副作用
- ・規制要件の更新の必要性和活動
- ・薬剤疫学的手法利用の必然性



青木 事成氏
中外製薬株式会社
安全性データマネジメント部
疫学グループ マネージャー



集中型分析機能：リソースを共有し、 最良の結果を見出す

- ・多方面からリアルワールド・インフォマティクスや分析を用いることで豊かつ多様な結果を得る 方法とは
- ・集中型機能のリスクとベネフィットとは



クライセル ネイト氏
Astellas Pharma, Inc.
リアルワールドインフォマティクス機能長



会社全体として、必要なデータへの取り組み： コマーシャルとメディカルとの間でのデータ共有し、 連携を深めることによる効率化

- ・情報を横断的に共有して有効活用を果たすにはどのような仕組みと取り組みが必要なのか
- ・どのようなシステムを導入し、共有しやすい環境をつくるべきか
- ・RWDの有効活用を促すために必要な社内でのトレーニングとは
- ・リアルワールドから招集されるデータでエビデンス構築
- ・RWD導入：上司を納得させるには？

製薬企業、またはベンダー企業の講演を予定しております。
最新情報はwww.eyeforpharma.com/real-world-data-japan/jp-conference-agenda.phpをご覧ください。

エグゼクティブ・パネルディスカッション：

製薬企業、ベンダー企業、アカデミック、 政府などと協働し、データのアクセスや質を 向上させる

- ・今あるデータでできることを認識した上で、今後新薬のパイプラインで

RWDを役立たせるためにはどのようなデータが必要なのかを議論



青木 事成氏
中外製薬株式会社
安全性データマネジメント部
疫学グループ マネージャー



その他製薬企業、またはベンダー企業からの登壇を予定しております。

最新情報はwww.eyeforpharma.com/real-world-data-japan/jp-conference-agenda.phpをご覧ください。

協賛・出展について

協賛・出展の形態：

- ・講演（35分）：貴社のリーダーシップや知見を講演会場にてアピールできる機会
- ・出展：出展会場にて貴社の最新製品やサービスをデモできる機会
- ・ブランディング：小講演を含むランチタイムやコーヒブレーク、懇親会のスポンサーをはじめ、カンファレンス会場にて配布するグッズのスポンサーになることによって、貴社のブランド力を強化する機会

その他、多彩な参画方法を用意しております。

その他、貴社のニーズにカスタマイズしたパッケージを組むことが可能です。

担当 赤星までお気軽にご連絡ください：



赤星 公仁栄（くにえ）

eyeforpharma

日本総責任者

kakahoshi@eyeforpharma.com

過去の協賛・出展企業からの感想：

「ネットワークの良い機会でもあり、全体として有意義だったと思います。」

「普段は商談できない方々と話することができ、満足している。」

「参加者の部署・役職が絞られており、ネットワークが良くできた機会であった。」

「これまで出展した中で最もリーズを得ることができた。」

「講演の多くは興味深いもので、営業・マーケティング情報を提供するパートナー（ベンダー企業）として今後求められることを考える良い糧となりました。」



グローバルの市場動向、業界ケーススタディ、統計、分析などを含む eyeforpharma のレポート（英語）が、カンファレンスのダイヤモンドパスでお買い得！

ダイヤモンドパスを購入すると、100ページ+のデータやデータ分析に関するレポート1つ（英語）へ1年間アクセス可能になります。下記のレポートからお選び頂けます：

Value Added Services (2015 RELEASE)

- Exclusive in-depth case studies and company-wide initiatives from Janssen, Sanofi, Pfizer and Grunenthal
- A roadmap tailored to your company with three scenarios for creation, development, implementation and up-scaling of 'Value Added Services'
- Understand the creation of successful services by looking at organizational structure and internal processes, how to partner with external stakeholders, and how to make projects economically viable
- Expert interviews from companies that are making change happen: Bayer, Boehringer Ingelheim, Grünenthal, Janssen, J&J Diagnostics, Medtronic, MSD, Novartis, Novo Nordisk, Pfizer, Sanofi



Real World Data (2013 RELEASE)

- Understand and master the different types of trials which utilise real world data
- How conclusions drawn on turning quantitative data into qualitative data will help interpret epidemiology trends show true health outcomes
- How to apply RWD and how this will help reduce costs associated with Random Clinical Trials (RCT).
- Case studies and insights into what companies are aspiring to do with RWD. Including a detailed study on GSKs Relovair (Salford study) with their lead medical director who designed the trial
- How to use RWD to satisfy payer needs – what does pharma need to do to achieve reimbursement for their new treatments?
- Regulations which affect real world data usage in major European economies and the US



ご登録：カンファレンスパスをお選びください。

9月2日（金）までにご登録すると

¥40,000も
お得！

ダイヤモンド パス

- 2日間すべての講演や出展、ネットワーキングエリアへのアクセス
 - 講演スライドやオーディオサイトへのアクセス
 - 同時通訳レシーバー*
 - スペシャルレポート（通常価格 ¥270,000）
下記から一つお選びください：
 - Value Added Services 2015
 - Real World Data 2013
- レポートに関する詳細は前のページをご覧ください

ゴールド パス

- 2日間すべての講演や出展、ネットワーキングエリアへのアクセス
- 講演スライドやオーディオサイトへのアクセス
- 同時通訳レシーバー*

シルバー パス

- 2日間すべての講演や出展、ネットワーキングエリアへのアクセス

*カンファレンスの大部分の講演は日本語での講演です。ただし、一部の講演は英語となります。日本語や英語の同時通訳レシーバーを使用される方およびオーディオサイトへのアクセスを希望される方は「ゴールドパスまたはダイヤモンドパス」をご購入下さい。登録されたパスは一人のみの使用となります。
参加者に変更がある場合は、10月3日までに浅原（anza@eyeforpharma.com）までご連絡ください。

グループ割引

製薬企業1社から3名様以上ご参加の場合、合計価格が30%割引となります。ウェブサイトからご登録ください：
www.eyeforpharma.com/real-world-data-japan/register.php もしくは、浅原までご連絡ください(anza@eyeforpharma.com)。

(注)1. シルバーは適用外 2. 製薬企業のみ 3. その他の割引と併用不可

	BEST VALUE ダイヤモンド	MOST POPULAR ゴールド	BASIC シルバー
製薬企業用			
開催特別価格 - 2016年9月2日まで	¥283,000	¥163,000	¥128,000
早期割引価格 - 2016年9月30日まで	¥303,000	¥183,000	¥148,000
通常価格	¥323,000	¥203,000	¥168,000

ソリューション プロバイダー用

開催特別価格 - 2016年9月2日まで	¥293,000	¥173,000	¥138,000
早期割引価格 - 2016年9月30日まで	¥313,000	¥193,000	¥158,000
通常価格	¥333,000	¥213,000	¥178,000

お申込者の詳細

氏名（日本語）： _____ 氏名（ローマ字）： _____
会社名： _____ 部署名/役職名： _____
電話番号： _____ メールアドレス： _____
郵便番号： _____ 住所： _____

割引コードをお持ちの方はWebサイトよりご登録ください。

お支払い

お支払い方法をお選びください： クレジットカード 銀行 振り込み

クレジットカード番号： _____ 有効期限： _____
セキュリティ番号： _____ クレジットカード名義： _____ 署名： _____

[注1] お振込みの場合は、円建ての海外送金となります。海外送金の確認は時間を要しますので、請求書受け取り日より1週間以内に振込みをお願いいたします。

銀行手数料は貴社にてご負担下さい。

[注2] お支払いはカンファレンス前に必ずお済ませ下さい。

2つのお申し込み方法！

1 ウェブサイト

eyeforpharma.com/real-world-data-japan/jp-register.php

2 FAX

上記のフォームをこちらに送付 03 5428 0896

登録に関するお問い合わせは下記の登録事務局までお願いします。
eyeforpharma Japan登録事務局
電話：03-3464-8541
FAX: 03-5428-0896
Email: eyeforpharma-japan@alpha-br.com
主催
eyeforpharma Ltd. 7-9 Fashion Street, London E1 6PX, United Kingdom
電話: +44 207 422 4312 FAX: +44 207 375 7576
E-mail: anza@eyeforpharma.com
www.eyeforpharma.com/real-world-data-japan/jp-index.php

登録変更・キャンセルについて

- 2016年9月17日までのキャンセルにつきましては、参加費の25%をいただきます。
- 2016年9月18日以降のキャンセルにつきましては、参加費のご返金をいたしかねますのであらかじめご了承下さい。
- 登録者の変更の際は、9月30日までに必ず登録事務局までご連絡下さい。
- 主催は事前の連絡がなく、カンファレンス内容変更することが可能です。予めご了承下さい。

個人情報の取り扱いについて

お申し込み頂いた個人情報は、eyeforpharma Ltd. が個人情報保護方針に準じて適正に管理し、個人情報の漏洩を防止に努めます。

リアルワールド・データを活用し、 患者アウトカムの観点からの新たな価値創出



清水 央子氏
東京大学大学院
薬学系研究科
特任准教授



**マーリッヒ
ヨルグ氏**
ヤンセンファーマ
株式会社
ヘルスエコノミクス部
部長



青木 事成氏
中外製薬株式会社
安全性データ
マネジメント部
疫学グループ
マネージャー



玉田 寛氏
 Bristol-Myers Squibb
プリストル・マイヤーズ
スクイブ株式会社
メディカル・開発部門
専務執行役員、
メディカル・開発部門
部門長



安達 進氏
アッヴィ合同会社
医学統括本部
本部長



武藤 正樹氏
国際医療福祉大学
大学院医療経営管理分野
教授



- ▶ 多様なデータベースの分析結果をもとに、医薬品の将来の意思決定の中心的な役割を果たす
- ▶ 最適な情報源を見つけ、効果的な分析・活用方法を学ぶ
- ▶ 開発からローンチまでの間にRWDを導入し、貴社製品の価値を検証
- ▶ 上市後にRWDを活用し、患者さんの治療パターンを把握し、健康アウトカムの向上に貢献
- ▶ 異業種間で協働し、新薬に付加価値を与え、安全性を保つために必要な組織を構成



コラボレーション

業界リーダーや
イノベーターの方々と
コラボレーションやビジネスチャンス
を生むことができる

ネットワーク

150名以上の参加者と
7時間の出展エリアでの
ネットワークができる

学ぶ

業界リーダーが講演、
パネルディスカッションを
通じて、ノウハウや知見を
参加者に共有する

ゴールドスポンサー



シルバースポンサー



出展企業

